

## 式辞

春爛漫、桜花咲き誇り、  
若葉の光も、一段とさわや  
かさを増し、新入生のみな  
さんを、心から、歓迎して  
くれています。

公私何かとお忙しいとこ  
ろ、多數のご来賓のみな様、  
そして保護者のみな様のご  
臨席をいただき、二〇一  
六・平成二八年度、七二期  
生の入学式を挙行できます

こと、心から感謝し、厚く  
お礼申しあげます。

さて、新入生のみなさん、  
入学おめでとう。

今日から伝統ある住吉中  
学校の生徒です。

「児童」から「生徒」へと  
呼び名も変わりました。

この呼び名の変化は、みな  
さんが一步、大人に近づい  
たことを自覚してほしいと  
いう願いが込められていま  
す。

今、壇上からみなさんの  
顔を見ていると、どの人の  
目も清らかに澄み、「さあや  
るぞ」という強い意思が伝  
わってきます。

その目が語っている今のみ  
なさんの心の姿を「初心」  
と言います。

どうかその初心を大切にし  
つかりと前を見つめて中学  
校生活をまっすぐ進めて  
ください。

本校入学を契機として、

新しい自分を探す旅の始まりです。

中学の3年間を、実りあるものにするために、一日一日を大切に過ごして欲しいと願っています。

そこで、入学に当たり二つのことを

お話したいと思います。

一つ目は、朝顔の花についてのお話です。

朝顔はどんな条件がそろつたときに花が咲くか知

つて いますか。

先生も、朝温かい太陽の光を受けて咲くと思つていました。

しかし、24時間、温かい光を当てていた朝顔のつぼみは、開花することはありません。朝顔の花が咲くには、温かい太陽の光を浴びる前に、暗い夜の冷たさが必要なのです。

みなさんの人生もこれと同じです。

立派な花を咲かせるには、  
苦しく、つらい夜の冷たさ  
のような時期も必要なの  
です。

中学入学後、みなさんに  
は樂しいことだけでなく、  
しんどいこと、つらいこと、  
我慢しなければならぬい  
こともたくさんあります。  
樂しみにしている部活動  
も苦しい練習に耐えてこ  
そ「勝つ」喜びが得られま  
す。

勉強も同じです。

みなさんはこの時代に生まれてきました。みなさんが生まれてきたといふことは、みなさんがしかできない何かがあるからなのです。

そのみなさんが持つている素晴らしい才能をつぼみのままでは終わらせないためにも、しんどいこと、嫌なことから逃げずに頑張つてほしいと思います。

困難は、それに耐えることのできる人にだけ与えられるのです。

2つ目は、君たちの顔がひとり一人、違うように、考え方や、体つきも違つています。

体の丈夫な人・障害のある人・力の強い人・弱い人、いろいろな、個性のある人が集まつて、学習するとこうが、この住吉中学校です。相手のことを考え、行動

でかかる生徒に育つてほしいと願っています。

「互いの個性を尊重し、違いを認め合う集団」をつくりましょう。

今日からみなさんは「人にやさしい学校、人にやさしい心」を育てるために、在校生のみなさんと、一緒に取り組んでいきましょう。

保護者のみな様、私は目標として「人にやさしい生徒・人にやさしい住吉中学

校「づくりを目指し、積極的に取り組んでまいります。そして、本校職員と一丸となつて、学力の向上に努めてまいります。

しかしこれは、保護者のみな様のご協力なくしてはできません。

どうぞ、絶大なるご支援をお願いいたします。

教育は、林業に似ています。

一年で、花や実のなる農業

とは違い、一〇年先、二〇年先になるかは個人により  
違いがありますが、まつすぐ立派な木として成長する  
ことを願う作業です。

学校・家庭・地域が一体となつて、子どもたちの心に  
「わがまま」「自分勝手」という横枝が生えてきたときは切り取り、堂々とした大木になるよう、とともに育てていきましょう。

ようしくお願ひいたします。

簡単ではござりますが式  
辞といったします。

二〇一六・平成二八年

四月六日

大阪市立住吉中学校  
校長 村瀬香織